

教員の働き方改革の実現と中学校部活動の地域移行について

1 趣旨

兵庫県教育委員会「指導の重点」によると、教員の業務量の適切な管理等について各校の実態に応じた業務改善に取り組み、ワーク・ライフ・バランスを図っている。

また、令和4年12月、スポーツ庁・文化庁より「学校部活動及び新たな地域クラブの在り方等に関する総合的なガイドライン」が示され、少子化に伴い、学校部活動数の維持や部員数の確保が困難になっていることや、専門外の競技を指導すること等、部活動の指導に係る教員の負担が問題視されている。

本市としても、今年度より「姫路市中学生スポーツ・文化芸術活動推進協議会」を設立し、中学生が多種多様なスポーツ・文化芸術活動に参加できる機会の確保及び教員の働き方改革に向けて、持続可能で多様な環境の一体的な体制を構築するために、まずは休日の学校部活動の地域移行をめざす。

このように教員の働き方改革の実現に向けて、今回、中学校部活動の地域移行について検討することとした。

2 学校部活動の現状

(1) 休部や廃部による競技種目（選択肢）の減少

- 平成27年度から令和4年度の間で485あった部活動のうち56が廃部（運動部34部、文化部22部）

【競技別の部活動設置校数（35校中）】

《多い競技》

軟式野球：33校 陸上競技：29校 女子バレーボール30校
女子ソフトテニス：30校

《少ない競技》

水泳競技：9校 男子バレーボール：8校 柔道：4校 相撲：2校
体操競技：1校

- 入学した学校や希望する競技によって選択肢が限られる。

【学校別の部活動数】A中：16 ⇔ B中：4

《A中学校》部活数最多校

陸上競技・水泳競技・体操競技・ソフトテニス・卓球・バレーボール・軟式野球・サッカー・剣道・ソフトボール・吹奏楽・箏曲・茶華道・美術・放送・英語

《B中学校》部活数最少校

陸上競技・ソフトテニス・文化・美術

- 団体種目では、部員不足により合同チームを編成して大会に参加。現状の大会規定では遠方同士の学校で合同編成する場合もある。

(2) 教員の部活動へのかかわり

- 自身の専門種目の部活動を担当している教員 → 50%（326名）
- 将来、休日部活動の指導を希望する教員 → 16%（104名）
- ※R4.10月実施 部活動の地域移行に係る姫路市実態把握調査（教職員・学校対象）
- 放課後の時間帯は部活動を指導し、生徒の下校後、教材研究等の学校業務を行う。

3 めざすあり方

- 新たな地域クラブ活動による持続可能な中学生のスポーツ・文化芸術環境の構築

- ・「休日の部活動に指導を望まない教員が休日の部活動指導に従事しない」体制づくり

4 進捗状況等

(1) 姫路市の取組

【令和4年度】

- ・姫路市中学校部活動運営に係る検討会（7月・11月・3月）
- ・地域移行に係る実態把握調査〈教員・学校〉（11月）
- ・ヒアリング調査〈中学校・義務教育学校後期〉（12月）
- ・スポーツクラブ21へのアンケート調査（7月）
- ・姫路市スポーツ協会総会及び理事会にて報告・協力依頼（5月・9月）

【令和5年度】

- ・第1回姫路市中学生スポーツ・文化芸術活動推進協議会（5月）
- ・姫路市スポーツ協会総会にて報告・協力依頼（5月）
- ・姫路市スポーツ協会事務局及び関係団体と打合せ

(2) 中学校体育連盟（中体連）に係る内容

日本中体連が、スポーツ庁からの要請を受け、令和5年度より地域クラブの中体連主催全国大会への出場可を通知。姫路市においても、令和5年度より、数チームの地域クラブが中体連主催の大会に参加予定

5 今後の動き

(1) 地域移行に向けた取組

令和8年度を目途に、休日の学校部活動を地域クラブ活動へ移行することを目標に、可能性のある取組を協議し実証する。

- ・休日は、教員以外の指導者または希望する教員により、地域、ブロックごとに学校の枠を越えて活動する。
- ・現在の学校部活動を既存の地域クラブ活動へ移行することや、ニーズに応じた新たな地域クラブ活動の設立を推進する。

(2) 学校部活動の改革（地域連携）

- ・隣接する学校で合同部活動を展開する。
- ・部活動指導員を拡充する。

※部活動指導員とは、学校教育法施行規則に基づき、校長の管理監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする者

6 留意事項

- (1) 休日の学校部活動がスムーズに移行できれば、平日の学校部活動の移行も可能な部分から進めていく。
- (2) 学習指導要領解説において、教育活動の一環とされている部活動の位置付けが、今後見直されることも考えられる。

7 参考

令和5年度の学校部活動の状況

- (1) 部活動加入率 全体 83.3% （運動部 59.4%・文化部 23.9%）
- (2) 部活動数 全体 429 （運動部 318・文化部 111）